

社内研修会——ミドルマネジメントの強化研修——

——P.F.ドラッカーをヒントとした建設コンサルタントの実践的マネジメント——

1. 研修目的

社会・経済・環境など変化の時代を生き抜く上で、組織・業務マネジメント力は経営の柱である。とりわけミドル（次世代幹部・リーダー）の人材育成は重要な課題である。この研修会はミドルがマネジメントの重要性を理解し、成果を上げるための取り組み姿勢・具体的な方法を学ぶことを目的としている。また経営者層が参加し共に学ぶことにより円滑な経営指導・管理に役立つものである。

2. 講師：技術マネジメント研究所 代表 上野浩司

- 1) 昭和45年 広島大学理学部卒業、富士通ファコム株式会社入社
- 2) 昭和49年 中電技術コンサルタント株式会社入社
- 3) 平成20年 株式会社土木技術コンサルタント 代表取締役
- 4) 平成25年 技術マネジメント研究所設立

各地で技術研修会を主催するとともに組織・業務のマネジメントをテーマとして建設技術センター、日本技術士会、測量設計業協会、民間企業において講演活動を行う。

◆資格：技術士（建設部門、総合技術監理部門）

3. 内容

1. マネジメントの定義
2. 使命と責任 （組織・仕事の社会的価値、組織への貢献と自らの成長）
3. 事業環境 （グローバル化とローカル化、プロジェクトの変化、財政再建、発注機関の要員体制、品質、CIM）
4. 戦略・・・強みを生かす （戦略の意味：長篠の戦い、上り兵法・下り楽曲、キャノンの戦略）
5. 顧客満足※ （マーケティング・イノベーション、顧客にとっての価値、顧客満足5つのポイント）
6. 生産性の向上※ （働き方改革、なぜ～顧客をマネジメントする、仕事を定義、時間をマネジメント、
工程=コスト=品質、ミス）
7. 業務管理でコミュニケーション （業務管理表の機能、報・連・相で組織を活かす）
8. 人材育成※ （惹きつけ・とどまらせ・やる気をもたせる、ビジョン、社員のタイプ、指導・育成上の留意点、責任がキーワード、成果を上げる能力）
9. メンタルマネジメント （4つのケア、気持をコントロール、パワフルに生きる）

※：グループ討議

- ①顧客満足
 - ②生産性向上
 - ③人材育成
-